



①



②



③

- ①対面式ショーケース販売の店内
- ②月曜日限定で販売されるベーグル
- ③同店1番のオススメである食パン

Information



ぱん家 まいにち。
〒850-0017 長崎市新大工町6-17

☎ 095-818-4830

🕒 7:00~15:00

🏠 休 水曜日・木曜日

🌐 <https://panyamainichi.wixsite.com/mainichi>

Instagramは
こちらから



地 域住民とのふれあいを大切に、地域に根差した「まちのパン屋さん」として、地域住民からの信頼も厚いという同店。「美味しいパンを提供することはもちろんですが、ご来店いただいたお客様とのコミュニケーションを大切にしたい」と、

パ ンの素晴らしさを多くの方に届けたい。引き継ぎ、地域住民に愛してもらえようというお店づくりを心がけ、今後は、遠方の方や観光客などからも利用してもらえようというお店を目指したいという同店。「今後はSNS等を通じた広報活動にもさらに力を入れ、ターゲットの拡大を図っていききたいです」と楠木さん。また、新たな試みとして、パン作り教室の開講を検討しているという。

「開店の段階から、商品の8割程度はショーケースに並べるようにしています。朝の出勤・通学前などに、1日の楽しみとして、好きなパンをご購入ください！」

「もちもちの食感と程良い甘みが大人気で、予約の時点で完売することもあるんだとか。」「老若男女問わず多くのお客様に、お好みのパンをお買い求めいただけるよう、当店の看板商品である食パンやフランスパンなどの食パンから、菓子パン、惣菜パンなど、幅広いラインナップを取り揃えています。また、パンの生地も約10種類を作り分けており、パンの種類に応じて適した生地を使用するようにしています」と話す。

また、同店は、多くの方々に、お店に立ち寄っていただけるよう、午前7時には開店しているという。

「子どもたちだけでご来店いただけるといことは、地域の皆様から、安全・安心なお店として信用していただけているということだと思います。皆様と一緒に、地域の子どもの成長を見守っていただけたら嬉しいですね」と話す。

「子どもたちだけでご来店いただけるといことは、地域の皆様から、安全・安心なお店として信用していただけているということだと思います。皆様と一緒に、地域の子どもの成長を見守っていただけたら嬉しいですね」と話す。

「当店のパンを食べていただくだけでなく、自分で一からパンを作るといった経験を提供することで、パンに対してより親しみをもちたい。パンの美味しさや素晴らしさを再認識するきっかけにしたいです」と話してくれた。

同店のパンを食べてお客さんが笑顔になってくれることが何よりも嬉しいという金山さんと楠木さん。老若男女幅広い世代に愛されるこだわりのパンをお買い求めに休日や出勤前に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

ケイションを一番大切にしています。また、お客様の声から声をかけていただく、当店の身近に感じてもらえていることを実感でき、とても嬉しく思います」と楠木さん。

さらに、同店は、小学生や幼稚園・保育園生など、子どもたちだけの来店も多いという。

「子どもたちだけでご来店いただけるといことは、地域の皆様から、安全・安心なお店として信用していただけているということだと思います。皆様と一緒に、地域の子どもの成長を見守っていただけたら嬉しいですね」と話す。

当 店自慢のパンを多くの方々に金山さんが自信を持って提供する約25種類のパンの中で、同店一番のオススメは食パン。パン生地を使用する小麦粉の一部に熱湯を加えてこね、お餅のような生地に仕上げる「湯種製法」を採用した同店の食パンは、

また、新大工町に出店した理由については、販売マネージャーの楠木さんは、「新大工町商店街には、地域の皆さんに愛されるお店が多く立ち並び、お客様と何気ない会話をしたり、ご近所の店主さんといさつを交わしたり、とてもあたたかい場所だという印象を持っていました。私達もぜひこの町の一員になりたいと思い、店舗探しをしてきたところ、金山が子どもの頃に憧れた『まちのパン屋さん』にぴったりの外観の物件も見つかり、出店を決めました」

ま ちのパン屋さんの始まりは幼少期に近所のパン屋さんで美味しいパンに出会い、パンに興味を持った代表者でパン職人の金山さん。中学、高校とパン教室に通ったことで、作る楽しさを知り、いつか自分のお店を持ちたいと考えるようになったという。

また、新大工町に出店した理由については、販売マネージャーの楠木さんは、「新大工町商店街には、地域の皆さんに愛されるお店が多く立ち並び、お客様と何気ない会話をしたり、ご近所の店主さんといさつを交わしたり、とてもあたたかい場所だという印象を持っていました。私達もぜひこの町の一員になりたいと思い、店舗探しをしてきたところ、金山が子どもの頃に憧れた『まちのパン屋さん』にぴったりの外観の物件も見つかり、出店を決めました」



代表 パン職人
販売マネージャー

ぱん家 まいにち。
かなやま あいみ さん (右)
くすき りさ さん (左)

今回のがんばってますは、長崎市新大工町の商店街にて、地域に根差した『まちのパン屋さん』として、こだわりの食パンをはじめ、幅広い種類のパンを提供する『ぱん家まいにち。』の代表者パン職人の金山愛海さんと販売マネージャーの楠木理紗さんをご紹介します。

パンを通して食べる喜び・笑顔・人との繋がりを届けたい

